

# 自主防災組織だより

平成 17 年 12 月発行 多摩市役所総務部防災課 発行

(出典)

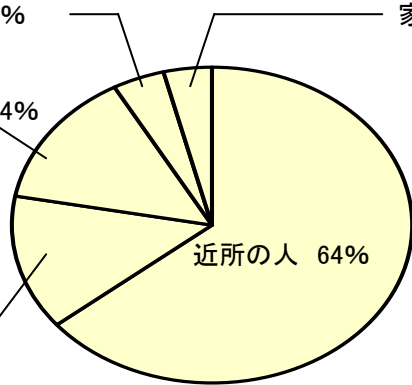
1995 年兵庫県南部地震による人的被害 (その 5)  
神戸市東灘区における人命救助活動に関する聞き  
取り調査宮野道雄 (大阪市大) 他

1996 年日本建築学会大会学術講演梗概集

親戚 4% 家族 4%

消防 14%

自衛隊 14%



人命を救助した人の割合

『なぜいま、自主防災組織なの？』

大きな地震から自分や家族の命を守るためには、普段から対策を講じておかななくてはなりません。しかし、ひとたび大地震が発生すると、個人や家族の力だけでは限界があり、危険や困難を伴う場合があります。このような時、毎日顔を合わせている隣近所の人たちが集まって、互いに協力し合いながら、防災活動に組織的に取り組むことが必要です。

災害発生時はもちろん、日頃から地域の皆さんが一緒になって防災活動に取り組むための組織、これが『自主防災組織』です。

## 『なぜいま、自主防災組織なの？』

「リーダーは大切な役割」

自主防災組織の、リーダーの役割は大変重要です。しかし、この種のいわゆる「役員」は一年交代が実情。引継ぎにより、途切れ途切れになりがちな自主防災組織の活動をサポートする解決策として「各種台帳の作成」をオススメします！(台帳の種類は、一覧表を見て下さい)

台帳は、地域内の情報を整理し、災害時、無駄の無い活動の基礎になります！せっかく作った台帳は、一定期間での更新作業が必要です。この作業をリーダーが中心となって行うのです。

これらの台帳は、プライバシーにかかわる事項を多く含みます。新規作成や更新、保管にあたっては、その情報機密性に十分に留意して取り扱ってください。

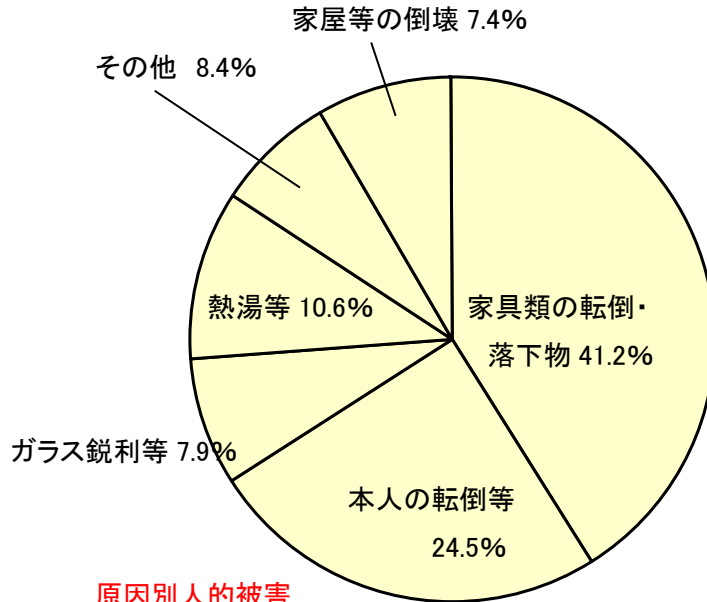
台帳名	記載例
自主防災組織台帳	組織の世帯数・役員の構成・町内の危険箇所
世帯台帳	各世帯の構成・かかりつけ医療・緊急連絡先
資機材台帳	倉庫の場所・備蓄機材一覧
人材台帳	資格・技能を持った人材一覧
要介護者台帳	災害時、助けが必要な方の一覧

台帳は一例です。内容は地域の実情に合わせて作成してください。また、プライバシーの保護には十分に留意してください。

# 多摩市の補助制度紹介

申請の前に、必ず、担当窓口までお問い合わせください。

図をご覧ください。新潟県中越地震における消防庁の調査です。  
これによると、建物が無事でも家具が転倒すると、その下敷きになってケガをしたり、居住者の被害が大きくなったりする事が判明しました。



原因別人的被害  
平成 16 年東京消防庁新潟県中越地震における  
人的被害に関する現地調査結果(速報)

家具転倒防止器具を取り付けましょう

高齢者の方へ	身体に不安のある六五歳以上のひとり暮らし、高齢者世帯に、地震時の被害の防止のための家具転倒防止器具を給付します。	一世帯につき三個を限度 (自己負担は一割)	高齢福祉課相談 支援担当 TEL 338-6846
障がい者の方へ	重度心身障がい者(身体障害者手帳一級二級、または愛の手帳一・二度)の方がいる世帯に、地震などで家具が転倒しないよう、常時居住する部屋にある家具に転倒防止用の器具を取り付けます。	一世帯につき三個を限度 (自己負担は一割)	障害福祉課相談 支援担当 TEL 338-6847

## 防災用品のあっせん

市では、万一の災害時に、「自分の身は自分で守る」ために、防災用品をあっせんしています  
あっせん期間は概ね毎年 8 月～11 月です。

# 転倒防止金具設置店紹介

多摩市 シルバー 人材センター	和田 434-1	電話 371-3580 FAX 371-3619
多摩市 住宅建設 協同組合	馬引沢 2-14-1	電話 371-1551 FAX 371-1551

# 耐震診断をしましょう

大震災から大切な財産を守るために、ご自宅の性能を正確に把握して、必要な備えをしましょう。  
多摩市では、住宅に関する各種補助を行っております。

住宅リフォーム資金補助	住宅課 TEL 0338-6817
木造住宅耐震診断助成 (平成17年度の 申請受付は終了)	
非木造住宅耐震診断助成	
分譲マンションの問題解決に ～住宅アドバイザー派遣制度～	

この見開きページの情報は、多摩市公式 HP に掲載されています。詳しくは、そちらをご覧ください。( ^ o ^ )

# 防災訓練は合同がお得

市では、災害時最も役立つ“地域の力”を育てる事を目的として、今までの助成金制度に替わり新たに作った制度です。  
2つ以上の自主防災組織が、一緒に行う防災訓練に対して、その訓練経費の一部(五万円を限度)に、多摩市が助成します！  
詳しくは、事前に防災課までお問い合わせいただきたいのですが、今回は、概要をお知らせします。

対象事業	複数の自主防災組織が合同で行う防災訓練
対象経費	合同訓練の実施に必要な消耗品、印刷製本費、通信費、研修費、原材料費等
交付申請	訓練実施日の2箇月前までに申請
窓口	防災課防災係 TEL 338-6802

防災訓練って、なにやればいいのか？なんてお困りの方！どしどし多摩消防署または市役所防災課へご相談下さい！

# 自主防災組織リーダー研修会

今年もやります！一月に首都大学東京より先生をお招きし、講演をしていただきます。通常では、滅多に聞くことが出来ない貴重なお話がめじろおしです。自主防災組織のリーダーの方は、ご参加いただきますようよろしくお願いいたします。

日時	平成 18 年 1 月 21 日 (土) 10 時～
場所	多摩市立総合体育館 1F 第 1 会議室
参加者	各組織 2 名程度
講師	首都大学東京 中林一樹 教授
主な著書	<凶解>東京直下大震災大惨事を生き抜く知恵と対策 徳間書店
監修	あなたの命を守る大地震東京危険度マップ 朝日出版社 【マーケットプレイス】 他
詳しくは、後日文書によりお知らせします	

# 編集後記

## — 中越地震の現場で感じたこと —

新潟県中越地震から 1 年が経ちました。平成十六年十月二三日（土）、私は、防災対策についての話し合い会場へ向かう最中でした。第一報では、被害は少ないとの報道に胸をなでおろしたのと、ひよつとしたら、被害を伝えることができないだけでは？と、同僚と話したのを記憶しています。数時間後、恐れていたことが現実となり映像で飛び込んできました。

翌日、総務部長の命令で、新潟県小千谷市ペットボトルの水を持ち向かいました。被災地に近づくとつれ、道路陥没・建物倒壊等、平穏な町並みとは程遠い光景を目にしました。そして、ただただ呆然と立ち尽くす人。駐車場で肩を寄せ合っている家族。あわただしく走る緊急車両。いろんな町の顔も見ました。その中で印象に残っているのが、ガソリンスタンドに長蛇の列をなしているマイカーです。およそ 2 時間後、先ほど営業していたガソリンスタンドの入口に、ダンボールに走り書きで「売り切れ」と書かれた看板が吊るされていました。

恥ずかしい話ですが、このとき再認識したのは、車の利便性です。雨風はしのげる・エアコンもついている・ラジオ（最近ではテレビ付きも珍しくない）から情報を得られる・なにより個室でプライバシーも保てる。なんて、便利なのだ！しかし、ガソリンが無ければ無用の長物（涙）。そこで、皆さんにオススメしたいのが、早め給油です。つい、ギリギリまで粘りがちな人を見かけますが（実は、私がそうなのです）どうせ入れなければならのですから、残量が三分一程度になったら給油する心がけをオススメします。イザと言った時、長蛇の列に並ばないで済むかもしれませんよ。

災害時、車は重要なアイテムに変わります

雨・風・暑さ・寒さをしのげます。ラジオなどで情報が取れます。プライバシーが保てます。

「ガソリン」は、残量が 1/3 位になったら、早めに給油する習慣をつけましょう。